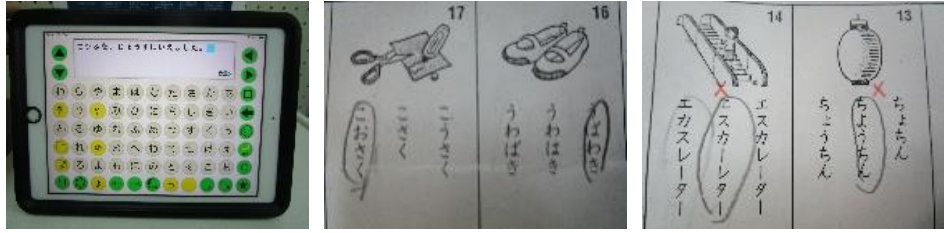






## 【教材・教具】国語・自立活動

教科・領域	国語、自立活動
名称	短作文で気持ちを表現する活動
写真 使用方法	 <p>タブレット端末のトーキングエイドアプリを使用。 前の日の出来事や感想等の身近な題材を用いて、助詞を使った短作文を作成し、発表する。 ※ 事前に「多層指導モデルMIM」（濁音・促音・拗長音等の理解度チェック検査）を用いてアセスメントを行い、客観的に実態把握を行った。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 Fグループ（3人）
素材・作り方	タブレット端末にトーキングエイドアプリをダウンロードして使用
使ってみて (効果・反省等)	50音から選択して指でタップするだけで、文を作ることができ、選択する際に音声で確認できるため、スムーズに入力できる。 拗音・促音も表示されており、間違えても訂正しやすい。 吃音がある生徒も、読み上げを楽しみながら学習できる。 友だちが入院したことを聞き「しんぱいやなあ」と言うなど、思いを表す言葉が出やすくなった。
保管場所 又は所有者	本校 高等部




## 【教材・教具】国語・自立活動

教科・領域	国語、自立活動
名称	書字（出来事や気持ちを日記として記入して表現する活動）
写真 使用方法	<p>↓4枚重ねる</p>  <p>1画ずつ記された透明カードを1枚ずつ重ねていき、1文字の形に再構成する。プリントに文字を記入する際には、筆記時の刺激が分かりやすいように、紙やすりを下敷きとして使用する。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 Fグループ（3人）
素材・作り方	プリントアウトした字を1画ずつ切り、ラミネートしてカードを作成
使ってみて (効果・反省等)	<p>1画がどこまでなのかが明確に分かり、1画ずつ分けて書けるようになった。「そ」の角も、とがらせて書けるようになった。</p> <p>5月 → 2月      4月 → 2月      4月 → 2月</p> 
保管場所 又は所有者	本校 高等部



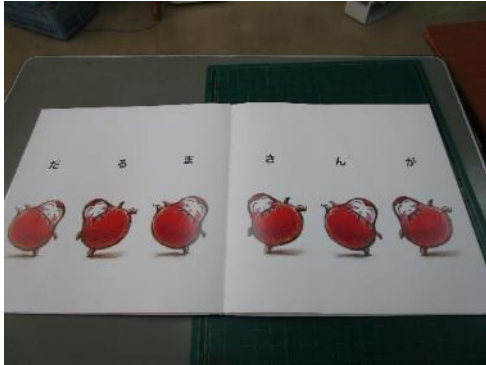



## 【教材・教具】国語・自立活動

教科・領域	国語、自立活動
名称	音読
写真 使用方法	 <p>電子絵本を生徒にスイッチで操作させて、主体的に学習させる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 Fグループ (3人)
素材・作り方	<ul style="list-style-type: none"><li>• 絵本をスキャナー等で画像として保存。</li><li>• それらの画像データをプレゼンテーションソフトに取り込んで作成。</li></ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自分のペースで学習できるため、楽しみながら主体的に学習する姿が見られた。</li><li>• 音声は自動でなく、音読後にクリックし読み上げるのがよい。</li></ul>
保管場所 又は所有者	本校 高等部



## 【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動（みるきくつたえる）
名称	『だるまさんがころんだ』等 だるまさんシリーズ
写真 使用方法	   
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 DE グループ
素材・作り方	段ボール
使ってみて (効果・反省等)	1 語文から 2 語文に移行するには格助詞の使用が必要。 そのためには「だるまさんがころんだ」シリーズが適切である。 その際絵本の世界を立体的に体験するために教材を作成した。
保管場所 又は所有者	本校 高等部




## 【教材・教具】美術

教科・領域	美術
名称	冷たいクリーム
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 DEグループ
素材・作り方	<ol style="list-style-type: none"><li>① シェービングクリームを一晩凍らせる</li><li>② 触ると熱で溶ける特徴を活かし、絵の具を混ぜながら冷たい感触を味わう</li><li>③ 絵の具を混ぜた冷たいクリームを画用紙に取り、のぼしながら描く</li></ol>
使ってみて (効果・反省等)	冷たいクリームは触ると形状が変わるので、生徒たちは不思議そうな表情を浮かべていた。また、柔らかくふわふわな感触に触りながら凝視する生徒が多く、興味を持っている様子を見ることができた。画用紙にクリームを取り出し描く活動では、生徒の手の軌跡が残り、それぞれの個性を活かした作品ができあがった。
保管場所 又は所有者	美術・技術室



## 【教材・教具】 家庭

教科・領域	家庭（住生活分野）「趣味や好きなことを増やそう」 ～いろいろやってみようプロジェクト①～
名称	キャンドルアート（ツリー）に挑戦！
写真 使用方法	 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 灯すキャンドルとしても使用できるが、主に観賞用として使用。</li><li>・ 観賞用であれば、お気に入りの皿やガラス瓶に入れて飾るのもよい。</li></ul>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 Fグループ3人、Gグループ3人
素材・作り方	<b>材料</b> ろうそく（仏壇用の物でも可）、ろうそく用塗料（クレヨンでも可）、アロマオイル、ろうそくの芯（タコ糸や麻ひもでも可）、おかずカップ（大きさの違う物を3種類程度）、ろうを溶かす用の鍋（IH対応）、卓上電磁調理器、ドライヤー、きり <b>作り方</b> ろうを鍋で溶かし、好きな色を付ける。おかずカップ（木の幹1個、葉の部分3個）に流し入れる。 ※ クリスマスバージョンにするならば、星の形のシリコン製おかずカップも準備するとよい。 固まったならばドライヤーで温めたきりで中央に穴を開けて芯を通す。
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 100円均一ショップでほとんどの物が揃うので扱いやすい。</li><li>・ ろう（パラフィン）は60度程度で溶け、比較的高温ではないが火傷など注意が必要。</li><li>・ 様々な形のお弁当用のおかずカップやシリコンケースを使用すると様々なお洒落なキャンドルが作れる。</li><li>・ 星を外すとツリーキャンドルになり、通年で使用できる教材である。</li></ul>





## 【教材・教具】美術

教科・領域	家庭（住生活分野）「趣味や好きなことを増やそう」 ～いろいろやってみようプロジェクト②～
名称	カフェエプロン製作 ～ ラテアートに挑戦！
写真 使用方法	  
対象児童生徒 学年・グループ	<ul style="list-style-type: none"><li>カフェエプロン……高等部 F グループ 3 人、高等部 G グループ 3 人</li><li>ラテアート ……高等部 G グループ 3 人</li></ul>
素材・作り方	<p><b>カフェエプロン製作</b> (材 料) 黒の綿生地 45cm × 90cm (エプロン本体) 1 枚 20cm × 45cm (エプロンポケット) 1 枚 黒の腰ひも 2cm × 1m (エプロン用) 2 本 黒の綿生地 (三角巾用)</p> <p>(作り方) 端部分にアイロンをかけ、ミシン (直線縫いのみ) で縫う。(動画等を参考に)</p> <p><b>ラテアートに挑戦</b> (材 料) インスタントコーヒー (エスプレッソが好ましい)、ココア、牛乳、チョコレートシロップ、クリーマー、耐熱容器、つまようじ、コーヒーカップ</p> <p>(作り方) 耐熱容器で牛乳を温める。クリーマーで牛乳 200ml を 1 分間泡立てる。あらかじめコーヒーとココア少量をお湯で溶き、泡立てた牛乳を入れる (※入れ方にコツあり) チョコシロップで模様を付けたり、つまようじで絵を描いたりして完成。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"><li>カフェエプロン製作は校内実習でコーヒー販売に使用することもあり、意気揚々と積極的に取り組む生徒がいた。また、完成したエプロンは卒業後も使用したいという生徒もいた。</li><li>ラテアートは「カフェエプロン製作」との関連性もあり実施してみたが、みんな楽し気に挑戦していた。カフェラテにチョコレートシロップをかけてつまようじで模様を描くだけでもアートになるので絵を描くことが苦手な生徒にはおすすめである。</li><li>校内実習の販売学習で普通のコーヒーを売った生徒たちだったので、「これは売れるかも！」と自信満々な生徒もいて、とにかく楽しそうに取り組んでいた。</li><li>職業・進路学習との教科横断的学習の面もあり、さらにエプロンの管理・洗濯など応用的で連続性のある学習・実習内容である。また、生徒の反応もかなり良い教材だと感じた。</li></ul>




## 【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	手話学習
写真 使用方法	 
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 Gグループ（3人）
素材・作り方	<ul style="list-style-type: none"><li>自己紹介・挨拶などの日常会話 16 項目、『365 日の紙飛行機』、『ピリープ』以上 3 項目の手話を、プレゼンテーションソフトで作成した。</li><li>上記の 3 項目の手話を、プレゼンテーションソフトからプリントアウトし、ラミネート加工して模造紙に貼った。</li></ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"><li>手話の手の形と動きには意味があることを、一つひとつプレゼンテーションソフトで作成し、電子黒板で大きく示すことができた。生徒にも分かりやすかったと思われる。</li><li>パワーポイントからプリントアウトし、ラミネート加工して模造紙に貼ることで、全体の流れをつかみながら練習できた。</li></ul>
保管場所 又は所有者	本校 高等部






## 【教材・教具】特別活動

教科・領域	特別活動（校内での宿泊学習）
名称	キャンドル作り
写真 使用方法	 <p>今年度はコロナ禍の中、校内で宿泊学習を実施し、防災学習やレクリエーション活動を行った。キャンドルを1日目の午後に作り、その夜の「お化け屋敷体験」や「キャンドルファイヤー」に使用した。キャンドルの灯火を囲み、共有体験を通して仲間意識を深めることができた。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 2年生
素材・作り方	<b>材料</b> ろうそく、紙コップ、割りばし、たこ糸、カップ、クレヨン、カッター、はさみ、耐熱容器 <b>作り方</b> <ul style="list-style-type: none"><li>ろうそく（仏壇用の短くて細いもの）を耐熱容器に入れ、電子レンジで溶かす。その間に、好きな色を選んで、クレヨンでイメージ図を描く。</li><li>カッターで削ったクレヨンと溶かしたろうそくを紙コップに入れ、割りばしで混ぜる。※やけどに注意する。</li><li>カップに短く切ったたこ糸と割りばしをセットし、流し入れる。</li><li>1色目が固まったら、2色目を入れる。</li></ul>
使ってみて (効果・反省等)	キャンドルのイメージ図を描くことによって、自分の表したい色合いのイメージをもって創作する楽しさを味わうことができた。ただし、電子レンジでろうそくを溶かすのに時間がかかり、湯せんの作業が必要になったため、安全かつ効率的に活動できるよう工夫する必要がある。
保管場所 又は所有者	本校 高等部





## 【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	The CAT-Kit
写真 使用方法	 <p>発達障がいのある子どもたちの感情トレーニングのために、デンマークで考案されたものです。基礎研修会から始まり、各レベルの研修会が催されています。研修会に参加するには、このテキストが必要になります。</p> <p>感情を分類し、さまざまな感情語と表情の関係や、感情の温度計などの学習が可能です。外国のテキストのため、日本の表現としっかりこない部分もあります。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	対象年齢 発達年齢 7 歳以上（実年齢とは異なります。） 感情のコントロールを学習する児童・生徒
素材・作り方	The CAT-Kit - アスペルガー症候群の人の感情コントロールの指導教材 トニー・アトウッド博士開発
使ってみて (効果・反省等)	<p>笑顔の表情を選び、「ルンルン」と生徒自らが感情の名前をつけることができました。</p> <p>怒りの表情を選んだ生徒に、支援者が「イライラの気持ちなんだね」と感情名をつけると、「〇〇くん、いま、イライラやねん」と気持ちを伝えることができました。</p> <p>ある生徒が「悲しい」を選択すると、それを見た他の生徒も「〇〇くんも悲しくなった」と気持ちを言葉で表現し、相手の気持ちによりそう様子がみられました。</p> <p>感情という見えない心の動きを「見える化」して、互いの心の様子を想像することができました。</p>
保管場所 又は所有者	本校蔵書（図書ホール）



## 【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動（集団活動）
名称	ジェンガ
写真 使用方法	 
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 DEグループ
素材・作り方	牛乳パックの上部と底に毛糸をつけ、中に鈴を入れる。 形が崩れるのを防ぐため内側に割り箸を張り付けて閉じ、色画用紙を巻き付ける。 最後にテープで補強する。
使ってみて (効果・反省等)	ジェンガをするうえで、動かすと音が鳴る色分けされたものを使用することでより興味を持ち楽しむことができるかを試したいと思い用意した。 使用したところ、前に並べ見せたときに普段のジェンガよりも興味を持って見る生徒もいた。抜くときに「どの色を抜く？」と言葉かけすると手を宙にさまよわせ考え、自分で選び抜くことができた生徒もいた。 また、抜いた後自分で振って鈴の音を聞きながら笑い声を上げ楽しむ生徒もいた。 今後は、色分けを利用したルールでやってみたり鳴る音に違いを持たせてみたりなど、生徒の実態に合わせた使用方法を考えながら使用していきたい。
保管場所 又は所有者	本校 高等部



## 【教材・教具】 職業

教科・領域	職業	
名称	中津検定	
<p style="text-align: center;">写真 使用方法</p>		<p><b>机拭き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雑巾の絞り方を学ぶ。</li> <li>・ 机の拭き方の見本を見て、何度も練習をする。</li> <li>・ 点検を必ずすることを意識する。</li> <li>・ 報告をすることを忘れない。</li> </ul>
		<p><b>スクイジー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクイジーの使い方を学ぶ。</li> <li>・ スクイジーの刃を使うたびにタオルで拭く。</li> <li>・ 縦拭き、横拭き、扇拭きを忘れない。</li> <li>・ 報告をすることを忘れない。</li> </ul>
		<p><b>接客</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手洗い、消毒、身だしなみ（衛生面）を整えることを意識する。</li> <li>・ 立ち位置や手を前で重ねる姿勢を学ぶ。</li> <li>・ お客様が聞き取りやすい言葉を使う。</li> <li>・ また、お客さまにわかりやすい説明ができるよう</li> <li>・ 何度も練習する。</li> <li>・ 店員間の連絡や報告をすることを忘れない。</li> </ul>
	対象児童生徒 学年・グループ	高等部 FGグループ
素材・作り方	パソコン、(生徒間での評価表) 印刷	
使ってみて (効果・反省等)	生徒間で検定試験の評価をし合い、お互いに感想を伝え合うことができた。また、評価されることにより、緊張感を持って各項目を注意しながら取り組むことができた。	
保管場所 又は所有者	統合 ICT ネットワーク内 セキュリティモード 高等部 > FGグループ > 職業	






## 【教材・教具】 職業

教科・領域	職業																																																																																																
名称	軽作業における校内検定指標																																																																																																
写真 使用方法	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">軽作業技能検定（ピッキング3級）</th> <th colspan="4">軽作業技能検定（ピッキング1級）</th> </tr> <tr> <th colspan="4">生徒氏名（ ）</th> <th colspan="4">生徒氏名（ ）</th> </tr> <tr> <th colspan="4">評価者（ ）</th> <th colspan="4">評価者（ ）</th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>評価項目</th> <th>評価内容</th> <th>スコア</th> <th>No.</th> <th>評価項目</th> <th>評価内容</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>指示を聞く</td> <td>・作業の指示かけにより動作を聞き理解できている ・作業の指示かけにより開始の合図まで作業をせずに待つ</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> <td>1</td> <td>指示を聞く</td> <td>・業務的に動作を聞き姿勢になっている ・作業の開始の合図まで手を動かさず待つことができる</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>正確に行う</td> <td>・指示されている物品の種類間違いが3つ以内である ・指示されている数の間違いが2以内である</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> <td>2</td> <td>正確に行う</td> <td>・指示されている物品の種類間違いが1つ以内である ・指示されている数の間違いがない</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>素早く行う</td> <td>・指定されたピッキング作業を15分以内に完了できる</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> <td>3</td> <td>素早く行う</td> <td>・指定されたピッキング作業を10分以内に完了できる</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>丁寧に行う</td> <td>・取り出した物品を落とす回数が2つ以内である</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> <td>4</td> <td>丁寧に行う</td> <td>・取り出した物品を落とすことがない</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>確認を行う</td> <td>・作業の指示かけにより間違いがないか確認をしている</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> <td>5</td> <td>確認を行う</td> <td>・間違いないか指示しや確認をしながら確認をしている</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>報告</td> <td>・不明であるが完了報告ができる</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> <td>6</td> <td>報告</td> <td>・指示している数値の名前を呼び完了報告ができる</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>片付け</td> <td>・指定された通りに元の場所に片付けることができる ・戻し忘れがなく片付けを完了できる</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> <td>7</td> <td>片付け</td> <td>・指定された通りかつ丁寧に元の場所に片付けることができる ・戻し忘れがなく片付けを完了できる</td> <td><input type="checkbox"/>○ <input type="checkbox"/>△ <input type="checkbox"/>×</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">○=2点 △=1点 ×=0点 合計得点が8割以上で合格 単・劣</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">○=2点 △=1点 ×=0点 合計得点が8割以上で合格 単・劣</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記は高等部 F グループ「職業」において授業で新しく取り組んでいる作業である「ピッキング」の3級及び1級の検定指標である。仕様書に記載された場所から物品を指示された個数取り出す仕事である。</p> <p>検定は生徒一人ずつに手元に棚を用意し、教員が各項目を確認しながら行った。評価はできている場合は○、できていない場合は×、不明な場合は？の欄にチェックをして○なら1点、×なら0点で合計点が8割以上で合格とした。不明欄のチェックが多くなると評価が困難になるため、3つ以上不明欄にチェックが入った場合は評価不可ということにするなど細かい状況も想定する必要があると考えている。</p>	軽作業技能検定（ピッキング3級）				軽作業技能検定（ピッキング1級）				生徒氏名（ ）				生徒氏名（ ）				評価者（ ）				評価者（ ）				No.	評価項目	評価内容	スコア	No.	評価項目	評価内容	スコア	1	指示を聞く	・作業の指示かけにより動作を聞き理解できている ・作業の指示かけにより開始の合図まで作業をせずに待つ	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	1	指示を聞く	・業務的に動作を聞き姿勢になっている ・作業の開始の合図まで手を動かさず待つことができる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	2	正確に行う	・指示されている物品の種類間違いが3つ以内である ・指示されている数の間違いが2以内である	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	2	正確に行う	・指示されている物品の種類間違いが1つ以内である ・指示されている数の間違いがない	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	3	素早く行う	・指定されたピッキング作業を15分以内に完了できる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	3	素早く行う	・指定されたピッキング作業を10分以内に完了できる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	4	丁寧に行う	・取り出した物品を落とす回数が2つ以内である	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	4	丁寧に行う	・取り出した物品を落とすことがない	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	5	確認を行う	・作業の指示かけにより間違いがないか確認をしている	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	5	確認を行う	・間違いないか指示しや確認をしながら確認をしている	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	6	報告	・不明であるが完了報告ができる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	6	報告	・指示している数値の名前を呼び完了報告ができる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	7	片付け	・指定された通りに元の場所に片付けることができる ・戻し忘れがなく片付けを完了できる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	7	片付け	・指定された通りかつ丁寧に元の場所に片付けることができる ・戻し忘れがなく片付けを完了できる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	○=2点 △=1点 ×=0点 合計得点が8割以上で合格 単・劣				○=2点 △=1点 ×=0点 合計得点が8割以上で合格 単・劣			
軽作業技能検定（ピッキング3級）				軽作業技能検定（ピッキング1級）																																																																																													
生徒氏名（ ）				生徒氏名（ ）																																																																																													
評価者（ ）				評価者（ ）																																																																																													
No.	評価項目	評価内容	スコア	No.	評価項目	評価内容	スコア																																																																																										
1	指示を聞く	・作業の指示かけにより動作を聞き理解できている ・作業の指示かけにより開始の合図まで作業をせずに待つ	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	1	指示を聞く	・業務的に動作を聞き姿勢になっている ・作業の開始の合図まで手を動かさず待つことができる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×																																																																																										
2	正確に行う	・指示されている物品の種類間違いが3つ以内である ・指示されている数の間違いが2以内である	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	2	正確に行う	・指示されている物品の種類間違いが1つ以内である ・指示されている数の間違いがない	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×																																																																																										
3	素早く行う	・指定されたピッキング作業を15分以内に完了できる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	3	素早く行う	・指定されたピッキング作業を10分以内に完了できる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×																																																																																										
4	丁寧に行う	・取り出した物品を落とす回数が2つ以内である	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	4	丁寧に行う	・取り出した物品を落とすことがない	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×																																																																																										
5	確認を行う	・作業の指示かけにより間違いがないか確認をしている	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	5	確認を行う	・間違いないか指示しや確認をしながら確認をしている	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×																																																																																										
6	報告	・不明であるが完了報告ができる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	6	報告	・指示している数値の名前を呼び完了報告ができる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×																																																																																										
7	片付け	・指定された通りに元の場所に片付けることができる ・戻し忘れがなく片付けを完了できる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×	7	片付け	・指定された通りかつ丁寧に元の場所に片付けることができる ・戻し忘れがなく片付けを完了できる	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> △ <input type="checkbox"/> ×																																																																																										
○=2点 △=1点 ×=0点 合計得点が8割以上で合格 単・劣				○=2点 △=1点 ×=0点 合計得点が8割以上で合格 単・劣																																																																																													
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 Fグループ																																																																																																
素材・作り方	高等部 Fグループの生徒が校外での実習で作業等をする際に、注意もしくは意識して取り組むべきポイントを想定して検定の指標とした。																																																																																																
使ってみて (効果・反省等)	本検定は生徒にとって理解しやすい項目であり、また、作業の手順等に関する事柄だけでなく、あいさつや作業を行う上での姿勢なども盛り込んでおり、検定の時のみでなく日常の授業から意識し、実践する必要がある。そのため、職業の授業ではその緊張感を持って授業を行うことができているため、検定を策定した意義は大きいと感じている。																																																																																																
保管場所 又は所有者	本校 高等部																																																																																																



## 【教材・教具】職業

<p>教科・領域</p>	<p>職業</p>																															
<p>名称</p>	<p>コーヒーの販売マニュアル</p>																															
<p>写真 使用方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="432 566 892 1207"> <p style="text-align: center;">令和3年度版</p> <p style="text-align: center;">コーヒー販売マニュアル</p> <p style="text-align: center;">大阪府立中津支援学校高等部</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項</th> <th style="width: 40%;">販売の基本</th> <th style="width: 50%;">ポイント・留意</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">金銭</td> <td>正しいつぎの動作（お集金時） 『はいさしめいませ』※ 『おしりありがとうございます』 『お手をどうぞ』※ 『おまかせいただきます』 『ありがとうございます』※</td> <td>・「お集金」は「お集金」が完了している。 ※お客様にすぐにお集金がない時でも、ほかに誰かが「はいさしめいませ」とお集金したら、お集金が終わった後にお集金をしてください。</td> </tr> <tr> <td>『はいさしめいませ』 ※入店時 ※レジ前</td> <td>・お客様の方を向きお集金をしてください。 ・お客様がレジの前に来た時点で、もう一度お集金をしてください。</td> </tr> <tr> <td>高「コーヒー」杯100円となっております。 ※</td> <td>・高集金機が故障した場合は、お客様に知らせる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">レジ</td> <td>レジ打ちをする。 （※レジ操作はマニュアル参照）</td> <td>注文を聞いた後、確認しながらレジ打ちを行い、お集金をしてください。</td> </tr> <tr> <td>『〇〇円お集金ありがとうございます』 ※トレーで、お集金をお集金する。</td> <td>残ったお集金をお集金する。</td> </tr> <tr> <td>『〇〇円のお集金ありがとうございます』 ※トレーで、レジスタート、お集金、（お集金）を操作してください。</td> <td>お集金の金額を確認する。 お客様が多い場合は、お集金を取り、お集金をお集金してください。</td> </tr> <tr> <td>『ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください』 『ありがとうございます』</td> <td>お客様の方を向き、「ありがとうございます」と言ってから、お集金をしてください。 ※お集金・・・お集金のあとにお集金</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="922 566 1382 1207"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>「お客様の方へお集金ください。」 ※「お集金」は「お集金」が完了している。 ※お客様にすぐにお集金がない時でも、ほかに誰かが「はいさしめいませ」とお集金したら、お集金が終わった後にお集金をしてください。</p> </td> <td style="width: 70%; vertical-align: top;"> <p>お客様をお集金の順番通りに呼び、お客様をお集金がない場合は、待っているお客様の方を優先する。順番が来たお客様が来た場合は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>お客様にわかりやすくお集金をお集金する。 ※お集金の金額を確認し、お集金をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p> </td> </tr> </table> </div> </div>	項	販売の基本	ポイント・留意	金銭	正しいつぎの動作（お集金時） 『はいさしめいませ』※ 『おしりありがとうございます』 『お手をどうぞ』※ 『おまかせいただきます』 『ありがとうございます』※	・「お集金」は「お集金」が完了している。 ※お客様にすぐにお集金がない時でも、ほかに誰かが「はいさしめいませ」とお集金したら、お集金が終わった後にお集金をしてください。	『はいさしめいませ』 ※入店時 ※レジ前	・お客様の方を向きお集金をしてください。 ・お客様がレジの前に来た時点で、もう一度お集金をしてください。	高「コーヒー」杯100円となっております。 ※	・高集金機が故障した場合は、お客様に知らせる。	レジ	レジ打ちをする。 （※レジ操作はマニュアル参照）	注文を聞いた後、確認しながらレジ打ちを行い、お集金をしてください。	『〇〇円お集金ありがとうございます』 ※トレーで、お集金をお集金する。	残ったお集金をお集金する。	『〇〇円のお集金ありがとうございます』 ※トレーで、レジスタート、お集金、（お集金）を操作してください。	お集金の金額を確認する。 お客様が多い場合は、お集金を取り、お集金をお集金してください。	『ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください』 『ありがとうございます』	お客様の方を向き、「ありがとうございます」と言ってから、お集金をしてください。 ※お集金・・・お集金のあとにお集金			<p>「お客様の方へお集金ください。」 ※「お集金」は「お集金」が完了している。 ※お客様にすぐにお集金がない時でも、ほかに誰かが「はいさしめいませ」とお集金したら、お集金が終わった後にお集金をしてください。</p>	<p>お客様をお集金の順番通りに呼び、お客様をお集金がない場合は、待っているお客様の方を優先する。順番が来たお客様が来た場合は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>	<p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p>	<p>お客様にわかりやすくお集金をお集金する。 ※お集金の金額を確認し、お集金をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>	<p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p>	<p>お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>	<p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p>	<p>お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>	<p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p>	<p>お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>
項	販売の基本	ポイント・留意																														
金銭	正しいつぎの動作（お集金時） 『はいさしめいませ』※ 『おしりありがとうございます』 『お手をどうぞ』※ 『おまかせいただきます』 『ありがとうございます』※	・「お集金」は「お集金」が完了している。 ※お客様にすぐにお集金がない時でも、ほかに誰かが「はいさしめいませ」とお集金したら、お集金が終わった後にお集金をしてください。																														
	『はいさしめいませ』 ※入店時 ※レジ前	・お客様の方を向きお集金をしてください。 ・お客様がレジの前に来た時点で、もう一度お集金をしてください。																														
	高「コーヒー」杯100円となっております。 ※	・高集金機が故障した場合は、お客様に知らせる。																														
レジ	レジ打ちをする。 （※レジ操作はマニュアル参照）	注文を聞いた後、確認しながらレジ打ちを行い、お集金をしてください。																														
	『〇〇円お集金ありがとうございます』 ※トレーで、お集金をお集金する。	残ったお集金をお集金する。																														
	『〇〇円のお集金ありがとうございます』 ※トレーで、レジスタート、お集金、（お集金）を操作してください。	お集金の金額を確認する。 お客様が多い場合は、お集金を取り、お集金をお集金してください。																														
	『ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください』 『ありがとうございます』	お客様の方を向き、「ありがとうございます」と言ってから、お集金をしてください。 ※お集金・・・お集金のあとにお集金																														
																																
<p>「お客様の方へお集金ください。」 ※「お集金」は「お集金」が完了している。 ※お客様にすぐにお集金がない時でも、ほかに誰かが「はいさしめいませ」とお集金したら、お集金が終わった後にお集金をしてください。</p>	<p>お客様をお集金の順番通りに呼び、お客様をお集金がない場合は、待っているお客様の方を優先する。順番が来たお客様が来た場合は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>																															
<p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p>	<p>お客様にわかりやすくお集金をお集金する。 ※お集金の金額を確認し、お集金をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>																															
<p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p>	<p>お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>																															
<p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p>	<p>お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>																															
<p>「ご集金の金額をお集金ください。コーヒーメーカーの方へお集金ください」 『ありがとうございます』</p>	<p>お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。 お客様をお集金する際は、お客様をお集金する際は、お客様をお集金する。</p>																															
<p>対象児童生徒 学年・グループ</p>	<p>高等部 Gグループ</p>																															
<p>素材・作り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーヒーメーカー</li> <li>・ コーヒー豆、紙コップなど</li> <li>・ レジスター</li> </ul>																															
<p>使ってみて (効果・反省等)</p>	<p>本校のコーヒー販売は、高等支援学校等で行われているような喫茶サービスとは異なり、中津支援学校の生徒が、可能な限り自分たちの手で販売できるように、コンビニエンスストアのセルフ販売のような形式で実施している。</p> <p>販売実習では、生徒は自らお客様に対し丁寧な言葉遣いを心がけ、座学でのビジネスマナー学習の実践の場として、非常に高い学習意欲で取り組むことができた。</p> <p>生徒は5日間の販売実習の最後には、達成感を得ている様子で、販売に対し興味を持ち、中には将来の進路に生かしていきたいと考えている生徒がいた。</p> <p>今後、このマニュアルは、生徒の実態に応じ、変化させていくようにしたい。</p>																															
<p>保管場所 又は所有者</p>	<p>本校 高等部</p>																															